OMU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OMU students

プロフィール（Profile）

氏名	松下昂由
所属	工学域　航空宇宙工学課程
学年	2 年
留学先	エンブリーリドル航空大学
留学期間	2023/02/19~2023/02/27

留学レポート Study Abroad Report

僕は今回、ERAU Winter School というプログラムに参加させていただきました。
ERAU（Embry-Riddle Aeronautical University）は航空宇宙分野でアメリカ国内でトップを争うほどの大学で、子供の頃からアメリカで航空宇宙分野を学びたいと思っていた僕にとっては本当に貴重な経験となりました。
現地滞在日数は 6 日間と非常に短い期間でしたが、ERAU のバディやホストファミリーのみんなのおかげでその毎日が新鮮なことばかりで、気づけば帰国となっていました。
このレポートでは僕が特に印象に残ったことをご紹介したいと思います。

- **アリゾナの天候**

ERAU がアリゾナのフェニックス内のプレスコットにあるということで、僕らは 6 日間アリゾナに滞在していました。
しかしそのアリゾナの気候はとても激しく、お店が休むほどの大雪が降った次の日には一気に 22 度まで気温が上がったりするので、体調管理や服装選びが大変でした。また雪が降った次の日が晴れていると、積雪からの反射光がとても眩しいため、サングラスをとても重宝しました。そのためか ERAU 生を含めたアメリカの現地の方はサングラスをするのが普通だったので、日本と違った感覚がして面白かったです。

- **ERAU での経験**

ERAU では宇宙デブリの特別講義やプラネタリウムを使った宇宙の講義、風洞実験の見学などをさせてもらいました。さすが全米トップを争う大学と言わんばかりの広大なキャンパスと豪華な個々の設備に終始興奮していました。その中でもフライトシュミレーターとセスナでのオリエンテーションフライトが僕にとって最高の経験になりました。

フライトシュミレーターでは離陸から着陸までの一連の流れをシュミレートしました。スイッチの数が多く、指示も英語でされるので瞬時に理解するのに苦労しました。また飛行中の旋回などは簡単でしたが、着陸が想像以上に難しかったです。

そしてオリエンテーションフライトでは実際にセスナに乗ってフェニックスの上空を飛びました。そこでは僕が操縦桿を握って、実際に離陸や旋回を経験させていただきました。これはおそらく普通では体験できないことでしょうし、僕の人生でも最初で最後の経験になったと思います。セスナで操縦桿を握っている時に「ここにきて本当に良かった」と思いました。

- **ERAU 生やホストファミリーとの交流**

6 日間の滞在のうち、最初の 3 日間はホームステイで残りの 3 日間はホテルに泊まりました。

ホームステイ中はホストファミリーのみんなと一緒にボードゲームをしたり、ディナーを食べたりしてとても充実した 3 日間を過ごさせていただきました。手作りのタコスやチーズケーキ、クッキーなどどれもが美味しく、ファミリーの皆さんも積極的に接してくれたので正直、6 日間全てをホームステイで過ごしたかったです。

日中のほとんどの時間は ERAU のバディ達と行動しました。車でフェニックスの街中を案内してくれたり、レストランに連れて行ったり、ホテルまで送ってくれたりしたのでとても深く交流できたと思います。

ホストファミリーや ERAU のバディ達と接していて感じたことは、よく言われることですが、“どれほど日本の文化を知っていて、それを英語で伝えられるか”、がとても大事だということです。

向こうの方達から見ると我々日本人は“外国人”なので異文化にすごく興味を示します。ですのでこれから留学をしようと思っている人は、“普段日本で当たり前にとっている行動を英語で伝えられるかどうか”を念頭に置きながら毎日の生活を送って欲しいと思います。もちろん、ユーモアを交えられたら最高ですね！

- **最後に**

今回の留学が僕にとって初めての海外でした。そしてアメリカという場所は僕が子供の頃からの憧れの地でした。そんなアメリカに人生初の海外として訪れることができたのは本当に光栄です。

最初は憧れが強すぎるあまり、現実を知ってしまって幻滅するかもしれないと不安に思っていましたが、実際に行ってみるとそんなことは全然なく、ネイティブと英語でコミュニケーションを取ったり、アメリカの自然をこの目で見たりと、知識でしか知らなかったアメリカの文化を肌で体感してみて、さらにアメリカへの憧れが強くなりました。

また中学生のときから感じていた、アメリカで航空宇宙工学を学ぶことのカッコ良さやロマンを実際に感じられて、そのカッコ良さとロマンもさらに強くなりました。

僕は今回の留学で、“アメリカへ行く”という子供の頃からの夢を叶えましたが、それだけでなく“アメリカで航空宇宙工学を学ぶ”という新たな夢もできました。「こうなりたい」という自分の理想の姿も新たにでき、そのためには今何が足りなくて、何を意識してこれから学ばなければならないのかもこの留学で知ることができたので、1 週間ほどしかなかったとはいえ、非常に僕にとって実りのある機会になりました。改めてこの留学に参加して良かったです。

このレポートを読んでいるということは留学に迷っている、もしくは少しでも留学に興味がある人だと思います。1 週間しか留学していない僕から言うのもおこがましいですが、留学に興味があるならぜひ行ったほうがいいと思います。“百聞は一見に如かず”とはまさにその通りで、実際に異文化を肌で感じてみることで新たに発見することはとても多いです。またそこから新たな理想の姿も見えてくると思います。ぜひ積極的に行動してみてください。